



『虫ざらいはなおるかな?』

金井真紀 / 文と絵 理論社 2019

虫ざらい歴40年の私が、さまざまな形で虫と関わっている人をたずねて、虫と人との深い関わりを聞かせてもらいます。虫をモチーフにした作品を作るアーティストや、害虫駆除をしていた方も登場します。虫ざらいはなおるのでしょうか。



『夏休みに、ぼくが図書館で見つけたもの』

濱野京子 / 作 森川泉 / 絵 あかね書房 2019

本が大好きで毎日のようにさくら図書館に通っている達輝。ある時、同じクラスの彩友から本探しの相談を受けます。本を探さな中、本を通していくつもの出会いがあります。本が好きなのもそうではない人も、読書や図書館の魅力を感じることでできる物語です。



『しまうまのたんけん』

トビイルツ / 作・絵 PHP研究所 2019

見つけると幸せになれるまぼろしのどうぶつを探してほしい。さばくの王さまにたのまれた、しまうまの子どもは、たんけんにでかけます。旅のとちゅう、ツチブタやハシビロコウに出会いますが、お城にはきてくれません。最後に出会った、ふたごぶらぐださんが、王さまのもとへいっしょに行ってくれました。



『夏に降る雪』

あんずゆき / 著 佐藤真紀子 / 絵 フレーベル館 2019

佐世保に引っ越してきた大河は、防空壕「無窮洞」についての市民劇に参加することになりました。戦争を知らないけど、生きようとした人たちの証が今もここにはあります。実在する戦争遺産を通して自分と向き合い、現代を生きる子どもたちの成長のおはなしです。



『リスタート』

ゴードン・コーマン / 著 千葉茂樹 / 訳 あすなる書房 2019

チェースは、夏休みに屋根から落ちて記憶を失ってしまいました。アメフトのスター選手で、とんでもないワルだったらしいのです。おそろおそろ新しい人生を歩みはじめますが、次々と事件がおきます。そして、少しずつ記憶がよみがえってきました。マイナスからの自分探しの物語です。

夏の もう1冊



いつもとはちょっとちがう、今年の夏休み。
こんな時だからこそ、じっくり読んでほしい
おすすめの1冊を紹介します!

このブックリストは、出版社の許可を得て、表紙を掲載しております。 2020年7月
発行：宮崎県立図書館こどもしつ 電話(0985)29-2596



『タコのターくん水でる』

内田麟太郎／作 井上コトリ／絵 童心社 2019

ライオンのラオくんから手紙が届き、タコのターくんは「タコ水」をもって草原まで出かけることになりました。そこで困った出来事が起こり、大事なタコ水がからっぽになってしまいます。ター君を必死に助けようとする動物たちの姿に、やさしい気持ちになれるお話です。



『ぼくは気の小さいサメ次郎といます』

岩佐めぐみ／作 高島純／絵 偕成社 2019

サメのサメ次郎は、顔がこわいので、みんな逃げてしまって友達ができせん。そこで手紙を書いて友達を見つけることにしました。コンブレのラッコのプカプカさんに手紙を書きます。手紙が届いたのでしょうか。



『セミクジラのぬけがら』

如月かずさ／作 コマツシンヤ／絵 偕成社 2019

道ばたでなんでも集めるのが好きなミッチ。ある日、クジラの形をした木のかげらを見つけます。うっかり麦茶をかけてしまうと小さな小さなクジラになりました。お父さんと一緒にそのクジラを飼い始めると、次々に不思議なことが起こります。



『空に向かって走れ!』

小手鞠るい／作 大庭賢哉／絵 講談社 2019

愛理→雄大→晴樹→みなみ、この4人の炎チームで、運動会の400メートルリレーを走ることになりました。バトンの受け渡しの練習を真剣に取り組みながら、走るのがこわいという晴樹の気持ちも、友情でカバーしていきます。第1走者の愛理がスタートラインに立ちました。空に向かって走れ!



『じいじが迷子になっちゃった』

城戸久枝／著 羽尻利門／画 偕成社 2019

日本と中国の戦争が終わって、中国では、日本人の親とはなればなれになり、中国で育ててもらった子どもがたくさんいました。中国で迷子になったじいじが、どのようにして日本に帰ってきたのか、小学生のあなたに、じいじのむすめであるお母さんが聞かせてくれました。



『マックス宇宙ステーションへ行く』 犬のマックスとの科学冒険

ジェフリー・ベネット／著 マイケル・キャロル／イラスト 紺野市四郎／訳

勉成出版 2019

トリーの愛犬マックスは、国際宇宙ステーションに行く犬の第一号にスカウトされたのでした。犬のマックスが、宇宙飛行士の大人たちと協力して、宇宙でのミッションをなしとげていきます。



『あららのはたけ』

村中李衣／作 石川えりこ／絵 偕成社 2019

山口に引っ越したえりは、小さな畑をすることになりました。横浜の親友のエミへ、畑での発見、新生活のことに加えて、不登校になった幼なじみのけんちゃんのことを思い手紙に書きます。ふたりの手紙のやりとりから、自然のふしぎと「いじめ」について考えます。



『望みがかなう魔法の日記』

本田有明／著 PHP 研究所 2019

運動も勉強も苦手な友達の光平が、「魔法の日記帳」を使って別人のように変わったことを知り、竜也も真似をしてみます。努力して望みをかなえるなんてかっこ悪いと思っていた竜也が、本当に大切なことに気づき、成長していく姿を描いた物語です。



『はりねずみのルーチカ 一人魚の島』

かのゆうこ／作 北見葉胡／絵 講談社 2019

暑い夏。ルーチカ達は、船で島をめざすことにしました。流れ着いた小さな島で出会った不思議な少年リクに「ここには人魚がいる」と告げられ、人魚探しをはじめます。その人魚にはかくされたひみつが…。リクとルーチカ達の心温まる物語です。



『プラスチック惑星・地球』

藤原幸一／写真と文 ポプラ社 2019

軽くて丈夫なプラスチック。今やプラスチックなしの生活は考えられませんが、そのプラスチックが、動物たちにこんなに影響を与えているのだということを知りきっかけになります。「使い捨てをやめよう」「ものを大切にしよう」と、家族で話し合いができますね。